

男女共同参画社会 実現の取り組みは 今年は事業所を対象 にアンケートを実施



新志会
佐藤 美喜子議員

問 男女共同参画の推進は、なかなか住民に浸透しません。これまで、どのような取り組みがされたか。

答 行政が率先して推進する事としています。その一つとして24年度は村職員を対象に「男女共同参画に関する意識調査」を実施しました。結果は、慣習やしきたりにおける男女平等感が一番低く、次いで政治、地域活動が低い割合です。25年度は同様の調査を事業所にも実施して理解を広げていきます。

問 各種審議会等における女性の登用率は目標に達していません。要因と今後の対策は。

答 審議会等の構成団体から女性の推薦が少ないのが理由です。今後は女性が登用されやすい様に規則を改正し関係団体にもお願いをします。

問 学校では、男女共同参画について、どのような取り組みや教育がされているか。

答 男女を問わず一人ひとりの人格を尊重し個性の伸張を図りながら社会的資質や行動力を高める事をめざして教育をしています。

相模原市との 交流の成果は

問 市民桜まつりに、チャグチャグ馬コが参加し、また特産品の販売も行いましたがその成果は。

今後、人と人との交流、特に子ども達の交流の考えはないか。

答 馬コは大変人気があり、約200人の子ども達が馬に乗り記念撮影をしました。販売は雨のため2日目の午前中だけ行い、約8万円の売上でした。子ども達の交流は考えていませんが、来村いただけるのであれば、歓迎します。

その他の質問

グリーンカーテンについて



村内の学校での 体罰問題は 根絶に向け、 積極的に取り組みます



しののめ会
武田 哲議員

問 現在、教育現場では、全国的に体罰問題などが取りざたされていますが、教師、外部指導員を含め村ではどうなのか伺います。

①村内の小中学校では、体罰問題はありますか。
②課外活動のあり方について。
③文化、スポーツ教育のあり方について。

答 ①村内では、昨年、教育的指導という場面で2件の事案がありました。

体罰の根絶に向けて教職員が正しい認識を持ち指導が出来るよう、今後も法令順守の徹底について学校へ注意喚起し、教師と児童生徒・保護者との信頼関係を築ける学校をめざします。

※育み、育てること

問 村の交通安全、交通安全運動について伺います。

①教育現場での交通安全のあり方について。
②防災無線を活用し、

答 ①交通安全教室や自転車教室を開催すると共に、スクーリングの皆さんの協力でも子ども達の安全確保に努めてきました。
②防災無線を活用し交通安全啓発広報を実施します。
③交通環境の整備と合わせ、交通安全教室や各種交通安全啓発活動を積極的に実施します。



議会運営委員会 調査活動報告

■調査日／平成23年8月10日(水)
〜平成25年6月17日(金)
■調査事項／(一)議会の活性化について

- 子男一鬼佳見夫
澄初清秀盛猛明
藤谷向藤橋田沢
佐熊日遠高武黒
委員長
委員
委副委

(一)議会の活性化について

本委員会は、議会基本条例調査特別委員会、市制度調査特別委員会、大規模公共施設調査特別調査委員会の設置、及び議会の活性化に係る、住民との懇談会、議会報告会、新成人議会の実施し、その他、地方自治法の改正に伴う、会議規則、委員会条例、政務調査費の交付に関する条例等の改正、本会議における公聴会、参考人制度の活用、協議又は調整を行う場を明記し施行しました。また、25年の3月には、予算審査特別委員会において部ごとの審査を行いました。

今後の議会のあり方について、住民との懇談会、議会報告会や新成人議会については、住民参加の向上を意識し進めました。しかし、参加者が少数であり今後に向けた課題として、住民の目線にたった企画の工夫が必要なことや住民に対する情報提供の有り方などを検討していく必要性があります。

また、議会独自のホームページの開設や各地域の自治会との連携等を取り入れていく工夫が求められます。

本会議における公聴会、参考人制度の活用や予算審査特別委員会において、はじめての取り組みである部ごとの審査は、議会基本条例調査特別委員会の進捗よくと絡めた連携を行い有効的な取り組みができました。

議会運営委員会の充実した運営を進めるために、重要として取り入れた議会運営委員会前の議長、副議長、議会運営委員会委員長、副委員長の打ち合わせは、議会運営委員会の進行管理にとって有効的に進められました。

また、議会運営委員会の協議内容の情報伝達の徹底を図るため、全員協議会前の各会派、会派に属さない議員への報告時間の設定は、議員全員が共通意識を持って進められることから、今後も継続していく必要性があります。



議会の活性化に関する調査として行った議会運営委員会の初めての取り組みである所管事務調査は他議会の運営内容を直接、具体的に知る機会となり、市制移行にむけた議会運営の今後の展開における見通しの持てる調査となり、今後も取り入れる機会を持つこととします。

議会運営委員会は議会の活性化をめざし、委員会の運営姿勢として、議員各自の意見を尊重しつつ、ひとつひとつの課題にじっくりと取り組むことや課題発生時の迅速な対応、委員間の連絡・相談等の徹底など、「動く議会」を意識した展開をしてきました。

また、市制移行に係る今後の課題は、議員報酬、議員定数は基より、事務局員の増員や、連携のあり方など今後の調査、研究をますます活発化させていかなければなりません。

これまでの議会の姿を尊重しつつ、有効的な議会運営を常に意識し、開かれた議会・市民とともに歩む議会・行動する議会をめざし、滝沢市議会への一歩にむけて、常に進化をもとめることを期待し報告とします。